

ブルンジ難民に対する帰還及び再統合支援

ブルンジ難民の帰還状況

- 2006年末現在、コンゴ(民)に約17,000人、タンザニアに352,640人(UNHCR)の難民が存在
- 2005年9月～2006年6月の旱魃、右に伴う帰還地域の食糧危機による帰還事業の遅延
- 2007年7月頃から、帰還難民の数が急増

支援内容

- 帰還民に対する帰還先における住居支援
→ 帰還民の中でも特に脆弱な7,000家族に対し、扉、窓、鉄製シート等の建設資材を提供する
- 帰還民に対する保健支援
→ 帰還民と帰還民の帰還先コミュニティに対するHIV/AIDSの予防、啓蒙、カウンセリングを実施する

ブルンジ概要

人口: 750万人
(フツ族約85%、ツチ族約15%)

国土: 2万7,830平方キロメートル
(四国の約1.5倍)
中部アフリカに位置。
人口密度が非常に高い。

GDP: 約8億ドル
一人当りGDP: 約100USD

1993年の大統領暗殺事件以降内戦が続いていたが、2000年に主要反政府勢力と和平合意が締結。その後、暫定政権が樹立され、2005年に民主的大統領選挙、議会選挙が実施。現在、ンクルンジザ大統領のリーダーシップの下、国家再建、国民融和に取り組んでいる。06年9月には、唯一武力抵抗を継続していた反政府勢力と停戦合意が署名。07年、FNLは停戦合意の枠組みから離脱する旨宣言しているが、内部分裂のため弱体化していると言われている。

